

# 学校支援活動を核とした地域と学校の連携強化による教育力向上

## 和歌山県由良町

活動名

由良町共育コミュニティ推進本部

関係する学校

由良中学校・由良小学校・衣奈小学校・白崎小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の学習参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター	子供の学習参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティスクール	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

由良町では、平成21年度に町内全域の5小中学校（平成24年度から4小中学校）を推進地域として、地域共育コーディネーターを複数配置した上で学校、家庭、地域が一体となった取組を進めてきた。具体的には、平成21年度から「校内の環境美化作業」、「登下校の子どもの見守り活動による防犯運動」や「地域住民による読み聞かせ」等を実施してきた。その後、地域の地場産業と連携した「ワカメの養殖体験」や「定置網漁の漁業体験」、また、由良町発祥と言われる伝統楽器の「尺八」を使った「伝統音楽の学習」等、地域に根ざした学校支援活動を展開してきた。さらに、地域の人材を活用した「家庭の授業（調理実習やミシンの実習）」や「音楽の授業」などを実施している。由良町社会福祉協議会と連携した「高齢者・障害者体験活動」を行うなど学校支援活動の幅を広げている。また、デイサービスへの訪問を通して、学習内容の発表など行い、地域に学校が出向く活動にも取り組んでいる。

### 特徴

#### 【特徴的な活動内容】

デイサービスへの訪問では、小学生が近くの会館へ出向き、町の課題である高齢化問題について関心を高めるために高齢者との触れ合いをとおして学んでいる。現在は、児童の学習成果の発表をしたり、地域住民の生涯学習の成果発表会を児童と一緒に見たりと、内容を充実させている。その結果、地域との連携強化にも結びついている。児童から「地域のおじいちゃん・おばあちゃんを運動会に招待しよう。」と声が出るなど、地域の住民と学校の距離が近くなってきた。

各校では、「学校通信」を地域住民に配布し、日頃の学校の様子を紹介している。その通信に学校支援活動の様子を紹介し、学校支援活動のお礼と地域住民へ活動内容の周知を行っている。

#### 【実施に当たっての工夫】

学校支援活動において、学校と地域共育コーディネーターの連携は非常に重要である。地域共育コーディネーターの中には、元校長もおり、学校の実情に詳しく、地域共育コーディネーター全員が教員との意思疎通をスムーズに行えている。また、地域共育コーディネーターは、様々な分野で活躍されている方々で、地域との関わりも深く、学校の学習目的に合った地域のボランティアを結びつけることができ、地域との連携を支えてくれている。

由良町共育コミュニティ推進本部会議では、校長から学校の年間計画の説明と学校支援についての要望が提案される。その中で、地域ボランティアの協力者を集める時間的余裕が生まれ、学校と地域共育コーディネーターが事前協議を重ねることで内容が充実する。

### 事業を実施して

学校支援活動を中心に事業を展開することで、各学校は様々な体験活動を行えるようになり、地域住民と密接な関係になった。また、各学校が発行している学校通信により、地域住民の学校教育に関する理解が深まった。その結果、学校を中心に地域の教育力も向上し、学校が地域の核としての存在感を示している地域も現れている。また、学校支援活動をとおして、「教育」と「福祉」、「教育」と「地場産業」と新たなつながりができた。

### その他

学校、地域、保護者の連携を強化するために、県教育委員会の提案により、「共育ミニ集会」を各学校で実施している。このように3者が同じテーマで話し合うことで、今後起こり得る東海・東南海・南海地震の備えとして、地域のつながり作りに寄与していくと考える。

また、学校が地域の教育のランドマークになっていない地域もあるので、学校支援活動を続けていくことで、学校が地域の核になることを期待したい。



デイサービス訪問



中学校尺八指導の様子